

平成24年度臨床研究テーマ成果報告書

診療科（部）名：看護部

研究期間：平成23年6月～10月

研究課題名：手術中における口唇口蓋裂乳児の低体温予防のため保温方法の検討

研究課題の概要及び成果：

A病院では、口唇・口腔内に限定される乳児の手術が、年間900件近い全手術のうち、17%近くを占めるが、乳児の呼吸・全身状態の観察のため、上半身を覆うことが難しい状態である。A病院の手術室で特に0～1歳児の手術時の体温低下が認められたことが過去のデータより示されており、入室時よりベットシート下から温風を送り、下半身を覆った保温具の中で温風の対流を維持し、麻酔導入前から乳児を暖めておくことが、手術中における乳児の低体温の予防になるのではないかと考慮した。研究期間中に口唇形成術・口蓋形成術を受けた乳児42名に対し、上記の方法で入室時より保温をおこなった結果、42名中10名が低体温となり、10名中9名が口唇形成術を受けた乳児であった。上記の方法で入室時より保温を施していない研究期間前に同様の手術をうけた乳児33名は、26名が低体温となり、研究期間中の対象者と研究期間前の対象者の間に有意な差が認められた。このことにより、麻酔導入前、入室時より保温することは、手術中の乳児の低体温予防の効果につながるということがわかった。

今回の成果は、第57回（社）日本口腔外科学会総会・学術大会併設 第8回歯科・口腔外科看護研究会で発表した。

上記概要・成果に関連する図表等

表1 研究期間中対象者手術別一定体温数と低体温数

	口唇形成術	口蓋形成術
一定体温	20	21
低体温	9	1

表2 研究期間中と前の対象者の一定体温数と低体温数

	研究期間中 対象者	研究期間前 対象者
一定体温	32	7
低体温	10	26

\* p<0.05

